

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科 国語 科目 現代の国語

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 林 靖享

使用教科書： 発行者 東書 教科書記号・番号 現国701 教科書名 新編現代の国語

教科「国語」の目標	
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目「現代の国語」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	A 単元A 自己を見つめる 【知識及び技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、評論の読み方を学び、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考える。	・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解させる。 ・読書の経験が読者の考え方に大きな影響を与え得ることについて理解させる。 ・「読むこと」において、評論の読み方を学び、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握させる。 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にさせる。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 ・読書の経験が読者の考え方に大きな影響を与え得ることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、評論の読み方を学び、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 B 言葉と生活 【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方について理解し用いる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く評論の文章構造や対比構造を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つ。	・現代の問題に関心を持ち、自分自身のこととして世局的に向き合う姿勢を持たせる。 ・各種データの説明のうまさについて読み取り、まとめさせる。 ・「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」について読み取り、まとめさせる。 ・「届く言葉」について、本文のテーマをもとに読み取り、まとめさせる。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方について理解し用いている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く評論の文章構造や対比構造を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。	○	○	○	6
	定期考査							1

1 学 期	<p>C 単元</p> <p>C 分かりやすい説明をする</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末を活用する。 ・「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考えさせる。 ・「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解させる。 ・整理した「自分の学校の行事」について、グループに分かれてロールプレー（役割演技）を行う。聞き手役は相互評価表を書かせる。 ・グループでの説明を振り返り、相互評価などをもとに評価点、改善点などを話し合わせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。 	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	<p>D 手順を整理して正確に伝える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解する。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に手順書の特徴を理解し、学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えられるようにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」の中から一つを選び、何についての手順書を作るかを決めさせる。 ・どのような形式で手順書を作るかを考えさせる。 ・手順書を作るために必要な情報を書き出して分類し手順書の大まかな流れを作成する。 ・手順書の読み手を想定し、表現の言い換えや、情報の追加、省略などを検討し、手順書を作成させる。 ・グループに分かれて手順書を読み合い、改善点を探して助言し合わせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に手順書の特徴を理解し、学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えられるようにまとめようとしている。 	○	○	○	4
	<p>E 美しさの発見</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発見」の旅の体験を通して筆者が考えたことを読み取り、まとめさせる。 ・「美しさ」の在り方をさまざまな視点で比較しながら読み取り、まとめさせる。 ・「美しさの発見」について、本文の論旨をもとに読み取り、まとめさせる 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている 	○	○	○	1
	<p>F 水の東西</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使わせる。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握させる。 ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。 	○	○	○	2

<p>G 発想を広げて課題を見つける</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・書くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」の中から一つを選び、思考・発想を広げる方法として何を使うかを決めさせる。 ・どのような題材について話し合うか、各自で題材案を考え、グループで検討し、題材を決めさせる。 ・図書館を活用し、題材に関する情報を調べさせる。 ・アイデアを出し合い、出されたアイデアは、付箋に書いて台紙に貼り、分類・整理させる。 ・5分程度のスピーチとしてまとめて発表させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・書くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 	○	○	○	5
<p>H 新聞記事をもとに問を作り、意見をまとめる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報の妥当性を吟味して伝えたいことを明確にする。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報の収集や整理をし、相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して、自分の意見を文書としてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末を活用する。 ・グループごとに、複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。 ・インターネットを利用し、興味のある新聞記事に関する情報を探す。 ・選んだ記事の内容を整理し、「問の焦点」を定め、問い作りのルールを確認する。 ・選んだ問をもとに意見をまとめ、意見文を書く。 ・グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報の妥当性を吟味して伝えたいことを明確にしている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報の収集や整理をし、相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して、自分の意見を文書としてまとめている。 	○	○	○	6
定期査							1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	<p>I 本を紹介する</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」「聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」「聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を活用する。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解させる。 「話すこと」「聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫させる。 「話すこと」「聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価させる。 積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行わせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解することができる。[(1)イ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」「聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫することができる。[A(1)イ] <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」「聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価しようとしている。 	○	○	○	1
	<p>J 調べた情報を説明資料にまとめる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を活用する。 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解させる。 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めさせる。 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。 	○	○	○	2
	<p>K まちの豊かさとは何か</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を活用する。 ワークショップでの経験を通して、コミュニティに対する筆者の考えがどう変化したかを読み取り、まとめさせる。 「豊かさ」についての考え方の変化によって、「デザイナーの仕事」がどう変化したかを読み取り、まとめさせる。 「まちづくり」における「豊かさ」とはどのようなことか、「豊かなまち」をつくるためには何が必要かを読み取り、まとめさせる。 「豊かさ」について各自考えたことを、討論させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深めている。 	○	○	○	1

<p>L 時間と自由の関係について</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の「時計に支配された世界としての学校」と、かつての「時計のない学校」との違いを具体的につかませる。 ・学校教育と労働における時間に関する価値基準の転換をつかませる。 ・二種類の「時間の自由」を説明し、「外部化された時間」とは何かを確認させる。 ・現代人の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているのかを説明させる。 ・「自由」とは何かを改めて考え、人間の自由と時間の関係について考えさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。</p>	○	○	○	1
定期考查				○	○		1
<p>M 真の自立とは</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、「自立」についての自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報の収集や整理をし、相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して、自分の意見を文書としてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「真の自立とは」 ・一人1台端末を活用する。 ・現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について読み取り、まとめさせる。 ・筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめさせる。 ・現代における「老い」や「『大人』になること」について、筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合わせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、「自立」についての自分の考えを深めようとしている。 	○	○	○	2
定期考查				○	○		1
<p>N 共鳴し引き出される力</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・推論の仕方を理解し使う。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについての的確に捉える。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の「能力」の捉え方に注意させる ・筆者が、「能力」とは個人に属するものであるかどうかという視点から疑問を呈していることを確認させる。 ・全盲のランナーと目の見える伴走者の例から「『共鳴』の感覚」について読み取り、まとめさせる。 ・「予防」と「予備」についての筆者の捉え方を読み取り、まとめさせる。 ・「他者の力を巧みに取り込み、自分をネットワーク化して生きる人たちが「身をもって示す能力の定義」が、どのようなものであるか理解し、まとめさせる。 3「三角ロジック」の考え方で意見を整理する方法を理解し、「共鳴し引き出される力」では、どのような具体例をデータとして用い、どのように「理由付け」をしているかを分析し、まとめる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</p>	○	○	○	2

3 学 期	<p>○ 異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」（P143）の中から一つを選び、テーマに沿った本を図書館で3冊程度探させる。 ・「メモの例」を読み、読み比べた文章の内容や自分で考えたことを簡潔にメモする方法を確認させる。 ・「構成案の例」を読み、メモを参考にしながら、意見文の構成を考えさせる。 ・意見文を書くにあたり、引用の方法や出典の示し方などについて理解させる。 ・決めた構成をもとに、意見文を完成させる。 ・グループに分かれて意見文を読み合わせる。 ・「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考、判断、表現】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。 	○	○	○	4
	<p>P 情報を整理しながら話し合う</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 ・論点を共有し、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」の中から一つを選び、グループに分かれて司会や記録係などの役割を分担し、話し合いの目的と、必要とする事前準備を確認のうえ、次時までに必要なアイデア案などを考えさせる。 ・グループで、各自のアイデア案の概要を確かめるとともに、時間配分などの話し合いの進め方を確認させる。 ・提案者が各案を説明し、質疑応答をしながら検討事項を表に整理し、話し合わせる。 ・話し合いの結果、決まったことや今後の課題を整理し、確認させる。 ・前時の話し合いについて、「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・論点を共有し、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしてしている。 				5
	<p>定期考査</p>				○	○		1
	<p>Q 人工知能はなぜ椅子に座れないのか</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える「自分の人生を生きる」行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関する、「クロード・エルウッド・シャノンらの考え方」とはどのようなものかを読み取り、まとめさせる。 ・「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」とは何か、また、それが「『意図』についての理解」とどのように結び付いているかを読み取り、まとめさせる。 ・「場」と「身体」との関係に注意しながら、「こうした考え方」が、どのような考え方を指しているかを読み取り、まとめさせる。 ・「『自らの人生を生きる』という行為」は、「人間や生物にのみ許された行為である」と筆者が考える理由を、「人工知能」との対比を踏まえて理解し、まとめさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考、判断、表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える「自分の人生を生きる」行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。 	○	○	○	5

3 学 期	<p>R 論証してレポートを書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・推論の仕方を理解し使う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」の中から、レポートのテーマとして一つを選ばせる。 ・テーマに関する問いをいくつか立てて、答えを想定させる。 ・レポートで取り上げる問いを決めさせる。 ・「『小さな問い』の例」を参考に、自分の問いについての「小さな問い」をいくつか立てさせる。 ・「小さな問い」を踏まえて、レポート全体で何をどう論証していけばよいのかを考え、論点を整理させる。 ・「論証の方法」として教科書に挙げられている三つの方法を理解させる。 ・さまざまな論証の方法を組み合わせ、論証の結果を積み重ねる形で全体の答えを導かせる。 ・レポートを書くうえで一般的に必要とされている形式を理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
備考								<div>合計</div> <div>70</div>

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科 数学 科目 数学Ⅰ

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 単位 教科担当者： 高木 俊哉

使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 数1718・719 教科書名 新編数学Ⅰ 新編数学Ⅰ サポートブック

教科「数学」の目標	
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目「数学Ⅰ」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	1章 式の展開 【知識及び技能】 文字を含む式の表し方や見方を理解し、文字を用いて数量を表すことができるようになる。同類項の整理や、整式の和や差の計算方法を理解する。乗法公式を利用して、いろいろな整式の乗法ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 展開公式を導く過程を考察しようとする。 式の形の特徴をとらえ、展開を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 整式の計算においても、数の計算と同様な法則(交換、結合、分配)が成り立つことに気づき、整式の展開などにおいて、その法則を活用しようとする。式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、展開を見通しよく行おうとする	・指導事項 文字式の表し方、見方 同類項の整理、整式の和・差の計算 乗法公式を展開から導く 乗法公式の利用 ・教材 教科書・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 1つの文字に着目して式を整理することができる。 同類項を整理して、整式の和・差の計算方法を理解し、計算することができる。 乗法公式を利用して、いろいろな整式の乗法ができる。 【思考・判断・表現】 展開公式を導く過程を考察することができる。 式の形の特徴をとらえ、展開を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 整式の計算においても、数の計算と同様な法則(交換、結合、分配)が成り立つことに気づき、整式の展開などにおいて、その法則を活用することができる。 式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、展開を見通しよく行うことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

<p>1章 因数分解</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>因数分解を，展開の逆の演算とみることができるようになる。式の形の特徴をとらえ，因数分解を見通しよく行う手段を見出すことができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>式の一部を1つの文字でおきかえたり，整式を1つの文字について整理したりすることで，因数分解を見通しよく行おうとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>いろいろな因数分解</p> <p>式の一部を1つの文字で置き換え乗法公式を利用して式を展開する</p> <p>式の一部を1つの文字で置き換え因数分解の公式を利用して式を因数分解する</p> <p>3次の乗法公式を2次の公式から道き、利用する</p> <p>3次の乗法公式を利用して、3次式の因数分解をする</p> <p>・教材</p> <p>教科書・ワークシート等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>適切な手段によって，整式を因数分解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>因数分解を，展開の逆の演算とみることができる。</p> <p>式の形の特徴をとらえ，因数分解を見通しよく行う手段を見出すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>式の一部を1つの文字でおきかえたり，整式を1つの文字について整理したりすることで，因数分解を見通しよく行おうとすることができる。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	<p>1章 数と式 2節 実数</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>数の分類や演算の可能性、数の集合の包含関係について理解する。循環小数の表し方を理解し、有理数と循環小数を相互に変換することができる。絶対値の定義を理解し、絶対値の値を求めることができるようになる。平方根の定義や性質を理解する。平方根を含む式の値を求めたり、式を簡単にしたりすることができるようになる。分母の有理化ができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>循環小数を分数で表す方法について考察することができる。絶対値を、数直線上のある点と原点との距離と解釈することができる。</p> <p>分母の有理化において、分母と分子に掛ける数を、式の形から判断することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>数の体系や演算の可能性に関心を持ち、調べてみようとする。</p> <p>根号内が同じ平方根を1つの文字と見なすことで整式における計算法則や公式が利用できることに気づき、平方根を含む式の計算において、そのことを活用しようとすることができるようになる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>数の世界と演算の可能性を広げる 分数から循環小数への計算 循環小数から分数への計算 絶対値の定義と計算 平方根の計算 分母の有理化</p> <p>・教材</p> <p>教科書・ワークシート等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>循環小数を分数で表す方法について考察することができる。</p> <p>絶対値の定義を理解し、絶対値の値を求めることができる。</p> <p>平方根を含む式の値を求めたり、式を簡単にしたりすることができる。</p> <p>分母の有理化ができる</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>循環小数を分数で表す方法について考察することができる。</p> <p>絶対値を、数直線上のある点と原点との距離と解釈することができる。</p> <p>分母の有理化において、分母と分子に掛ける数を、式の形から判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>数の体系や演算の可能性に関心を持ち、主体的に調べることができる。</p> <p>根号内が同じ平方根を1つの文字と見なすことで整式における計算法則や公式が利用できることに気づき、平方根を含む式の計算において、そのことを活用しようとすることができる。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	<p>1章 数と式 3節 1次不等式</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>不等式の意味について理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができるようになる。不等式の解の意味を理解し、解を数直線上に表すことができるようになる。不等式の性質を理解し、その性質を用いて2つの数の大小を比較したり、1次不等式を解いたりすることができるようになる。複数の1次不等式を組み合わせた連立不等式を解くことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>不等式の解を数直線上の点の集合としてとらえ、文章題に答えたり連立不等式の解を求めたりする場面、その解釈を適切に活用することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>不等式の性質に関心を持ち、数や式の大小比較において、そのことを活用しようとするようになる。数量の大小関係を不等式で表すことに関心を持ち、不等式の解を求めようとするようになる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>不等式の意味や解 不等式の性質 1次不等式の解法 連立不等式の解法</p> <p>・教材</p> <p>教科書・ワークシート等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>不等式の意味について理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。不等式の解の意味を理解し、解を数直線上に表すことができる。不等式の性質を理解し、その性質を用いて2つの数の大小を比較したり、1次不等式を解いたりすることができる。複数の1次不等式を組み合わせた連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>不等式の解を数直線上の点の集合としてとらえ、文章題に答えたり連立不等式の解を求めたりする場面、その解釈を適切に活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>不等式の性質に関心を持ち、数や式の大小比較において、そのことを活用しようとする。</p> <p>数量の大小関係を不等式で表すことに関心を持ち、不等式の解を求めようとする。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>2章 2次関数</p> <p>1節 2次関数とそのグラフ</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>関数の概念や、定義域、値域について理解する。関数関係を式の形で表すことができるようにする。関数の値を求めることができるようにする。</p> <p>$y=ax^2$、およびそれを平行移動したグラフについて、形状や性質を理解し、グラフをかくことができるようにする。</p> <p>2次式の平方完成ができるようにする。</p> <p>$y=ax^2+bx+c$のグラフをかくことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>2つの放物線の位置関係を、頂点の移動に基づいて考察したり説明したりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>関数関係をグラフで表すと、関数の性質が直観的にとらえやすくなることに気づき、そのことを利用して、いろいろな関数の特徴を主体的に調べることができるようにする。対称性など、放物線の形状の特徴に関心を持ち、放物線のいろいろな性質を主体的に調べることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>関数の定義</p> <p>1次関数とグラフ</p> <p>2次関数とグラフ</p> <p>・教材</p> <p>教科書・ワークシート等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>関数の概念や、定義域、値域について理解する。</p> <p>関数関係を式の形で表すことができる。</p> <p>関数の値を求めることができる。</p> <p>$y=ax^2$、およびそれを平行移動したグラフについて、形状や性質を理解し、グラフをかくことができる。</p> <p>2次式の平方完成ができる。</p> <p>$y=ax^2+bx+c$のグラフをかくことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>2つの放物線の位置関係を、頂点の移動に基づいて考察したり説明したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>関数関係をグラフで表すと、関数の性質が直観的にとらえやすくなることに気づき、そのことを利用して、いろいろな関数の特徴を主体的に調べることができる。</p> <p>対称性など、放物線の形状の特徴に関心を持ち、放物線のいろいろな性質を主体的に調べることができる。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
備考							合計
							62

高等学校 令和6年度（1、2学年用）

教科 外国語

科目 英語コミュニケーションⅠ

対象学年組： 第 1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 小田桐 のり子

使用教科書： 発行者 開隆堂

教科書記号・番号 C I 7 0 4

教科書名 Amity English Communication Ⅰ

教科 「外国語」 の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 「英語コミュニケーションⅠ」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通じて、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実施のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	言語活動を行うに当たり、言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせて活用できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
	GET READY 【知識及び技能】 中学校で学習する基本的事柄(身近な英語、和製英語等)について身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な英語をつかって簡単な会話を行い、自分の気持ちを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語と英語の違いを理解し、中学校で学習する事柄を活用して自分の気持ちを英語で伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 数字、文字、品詞 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、共感する／学校での学習や活動、地域での活動 【言語活動】 中学校で学習する基本的事柄を用いて自分の気持ちを伝えようとする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 ・ALTの活用	○		○			GET READY 【知識及び技能】 中学校で学習する基本的事柄(身近な英語、和製英語など)を理解し使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な英語をつかって簡単な会話を行い、自分の気持ちを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語と英語の違いを理解し、中学校で学習する事柄を活用して自分の気持ちを英語で伝えることができる。	○	○	○	4
	Lesson1 “The Beautiful Scenery” 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話を話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 be動詞・一般動詞の現在形 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ 【言語活動】 お気に入りの場所について、やり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 ・ALTの活用			○	○		【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形についてそのしくみを理解し、本文を読みその概要・要点を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 お気に入りの場所について、be動詞・一般動詞の現在形を用いて、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お気に入りの場所について、その考えや気持ちを伝えようとするとともに、その理由について英語で説明しようすることができる。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1

[illegible]

2 学 期	Lesson4 “Endangered Species”(Part2) 【知識及び技能】 不定詞を理解し、文章の内容について細かいところまで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 不定詞 【言語の働き、言語の使用場面】 理由を述べる、説明する、相づちを打つ 【言語活動】 動物に関することについてやり取りしたり、さまざまな動物についてまとめて発表することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用						○	○	【知識及び技能】 不定詞の仕組みを理解し、文章の内容について細かいところまで理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。							○	○	○	6		
	Lesson5 “The History of Chocolate”(Part1) 【知識及び技能】 動名詞についてその仕組みを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて、具体的な事柄をあげながら伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 動名詞 【言語の働き、言語の使用場面】 理由を述べる、説明する 【言語活動】 自分が開いている時間に行うことについて発表したり、具体的に説明することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用						○		○	【知識及び技能】 動名詞についてその仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて、具体的な事柄をあげながら伝えようとする事ができる。							○	○	○	7	
	定期考査																		○	○		1
3 学 期	Lesson5 “The History of Chocolate”(Part2) 【知識及び技能】 動名詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 動名詞 【言語の働き、言語の使用場面】 説明する、推論・仮定する 【言語活動】 健康のためにしていることについて発表したり、具体的に説明することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用						○	○	【知識及び技能】 動名詞について理解し、文章の要点や概要をとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康のためにしていることについて、動名詞を用いて、英語で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康のためにしていることについて、動名詞を用いて、具体的な事柄をあげながら伝えることができる。								○	○	○	8	
	FOCUS+ 2 【知識及び技能】 不定詞、動名詞、比較について理解し、技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を用いて、好きな音楽や日常生活について紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 既習の文法事項を用いて、好きな音楽や日常生活について紹介しようとしている。	・指導事項 【言語材料】 不定詞、動名詞、比較 【言語の働き、言語の使用場面】 説明する 【言語活動】 好きな音楽や日常生活についてその理由とともに発表することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用						○		○	【知識及び技能】 不定詞、動名詞、比較について理解し、技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を用いて、好きな音楽や日常生活について紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習の文法事項を用いて、好きな音楽や日常生活について紹介し、他者の発表について質問することができる。								○	○	○	9
	定期考査																		○	○		1
備考	合計																					
	70																					

高等学校 令和6年度(1,2年用)

教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 単位 教科担当者： 山中 淑江

使用教科書： 発行者 教出 教科書記号・番号 音Ⅰ701 教科書名 音楽Ⅰ Tutti+

教科 「芸術」 の目標

【知識及び技能】	芸術作品の良さを味わい、愛好するために必要な知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	芸術作品を愛好する心情を育てるとともに、芸術の文化に対する理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】	芸術の文化に関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

科目 「音楽Ⅰ」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を理解して表現する。自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 器楽 【知識及び技能】 ギターの基礎を正確に身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 美しい音色、流れの良い演奏ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な工夫をして良い演奏ができるよう努力する。	・ギターの1,2弦を使った音階とメロディ ・6弦から1弦を使った音階。					【知識・技能】 必要な技能を正確に身に付けているか。 【思考・判断・表現】 課題をより良く表現することができるよう工夫しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現活動に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	B 単元 楽譜の基礎 【知識及び技能】 階名や拍子、簡単なリズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を読み、演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽譜を読み、正しく演奏しようとする。	・階名について。 ・簡単な音符や休符について。 ・拍子とリズムについて。					【知識・技能】 階名や簡単なリズムを理解しているか。 【思考・判断・表現】 基礎的な知識により楽譜を読み演奏できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に楽譜を読み、正しく演奏できているか。	○	○	○	2
	定期考査										
	C 単元 歌唱 【知識及び技能】 音程、リズム、歌詞を正しく歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の意味やメロディを理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 姿勢よく体全体を意識して、明るい声で歌う。	・校歌 ・親しみやすい曲					【知識・技能】 メロディと歌詞を正しく歌えているか。 【思考・判断・表現】 歌詞の内容やメロディの美しさを理解し表現しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 姿勢よく体全体を意識して、明るい声でのびのびと歌えているか。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
2 学 期	E 単元 器楽 【知識及び技能】 タブ譜やダイアグラムを正確に読み、演奏する。 キーボードの基礎を学び、曲の練習。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を見て正確に演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 集中して課題に取り組む。	・ギターにおけるタブ譜の読み方。 ・コードの奏法。 ・キーボードの基礎。		○			【知識・技能】 様々な奏法を正確に習得できたか。 【思考・判断・表現】 楽譜を見て、正確に美しく演奏できているか。 キーボードでは指使いや音のつながりを意識できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中し、工夫をしながら取り組んでいるか。	○	○	○	10
	F 単元 楽典 【知識及び技能】 曲の演奏や鑑賞に必要な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な記号を理解して演奏に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な記号を理解して表現しようとする。	・楽譜における様々な記号。 ・			○		【知識・技能】 曲の演奏や鑑賞に必要な様々な知識を習得したか。 【思考・判断・表現】 記号や理論を理解して、演奏や鑑賞に活かすことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記号や理論を理解し、工夫して表現しようとしているか。	○	○	○	2
	定期考査										
	G 単元 歌唱 【知識及び技能】 外国語歌詞の発音や内容を理解して歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの曲の特徴を理解し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 曲の特徴を把握し、表現しようとする。	・外国の歌（イタリア語歌詞）	○			○	【知識・技能】 外国語歌詞の発音や内容を理解して歌っているか。 【思考・判断・表現】 曲の特徴を感受し表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲をよく理解し表現しようとしているか。	○	○	○	10
	H 単元 鑑賞 【知識及び技能】 音楽史におけるロマン派、近代の特徴を理解して鑑賞する。「ピアノ」の発達と作品の変化を味わう。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的背景や音楽的要素を感受しながら美しさを味わって鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞活動に取り組む。	・ロマン派、近代の作品 ・ピアノの変遷				○	【知識・技能】 時代の特徴、ピアノの変遷を理解しているか。 【思考・判断・表現】 音楽的要素、ピアノの変遷による音楽の変化などを感受して鑑賞しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	定期考査										
3 学 期	I 単元 器楽 【知識及び技能】 1, 2学期の基礎を基に、選択した楽器の演奏技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を見て正確に演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 集中して練習する。	・ギター、キーボードのうちいずれかの楽器を選択し、練習する。		○			【知識・技能】 選択した楽器の演奏技術を高められているか。 【思考・判断・表現】 楽譜を見て正確に演奏できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中し、工夫して取り組んでいるか。	○	○	○	7
	J 単元 歌唱 【知識及び技能】 メロディと歌詞を正しく歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の意味や美しさをと曲想を味わい、表現を考えて歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 曲の良さを理解し、歌唱表現に活かす。	・日本歌曲	○				【知識・技能】 メロディと歌詞を正確に歌えているか。 【思考・判断・表現】 歌詞や曲想を味わい、それを表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の美しさを理解しようとし、歌唱表現に活かそうとしているか。	○	○	○	7

備考	K 単元 鑑賞 【知識及び技能】 音楽史におけるオペラの歴史や、オペラの特徴や表現を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の表現や要素の働きを感受して鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞活動に取り組む。	・オペラ						○	【知識・技能】 オペラの歴史や特徴を理解しているか。 【思考・判断・表現】 様々な要素や表現を感受して鑑賞しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	定期考査												
	合計 68												

高等学校 令和6年度（1 学年用）

教科保健体育

科目体育

対象学年組：第 1 学年 M 組

単位数：2 単位

教科担当者：鈴木 悠太

使用教科書：発行者 大修館

教科書記号・番号 保体701

教科書名 現代高等保健体育

教科「保健体育」の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目「体育」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指すことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポータルフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10

<p>C 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したっている。</p> <p>【技能】</p> <p>・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。</p> <p>・スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>E 球技 ウ ベースボール型</p> <p>「ソフトボール」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。</p> <p>ウ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>ウ ソフトボール</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。</p> <p>・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。</p> <p>・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・ソフトボールの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10

<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。 	<p>【知識・技能】</p> <p>スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、言ったり書き出したりしている。また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、言ったり書き出したりしている。オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
--	---	---	---	---	---	---

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	<p>E 球技 イ ネット型 「バドミントン」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようになる。</p> <p>イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする事)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする事)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、(互いに助け合い教え合おうとする事)(などや)、健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>イ バドミントン</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。</p> <p>・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・バドミントンについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・バドミントンの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	16
	<p>E 球技 ア ゴール型 「サッカー」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようになる。</p> <p>アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事)、(互いに助け合い教え合おうとする事)(などや)、健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>ア サッカー</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。</p> <p>・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・サッカーの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・サッカーの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10

2 学期	<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、安全を確保することができるようにする。</p>	<p>(ア)体ほぐしの運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 <ul style="list-style-type: none"> ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出ししたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	○	○	○	4

3 学 期	<p>E 球技 ア ゴール型「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、(互いに助け合い教え合おうとし、(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>ア バスケットボール</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。 	○	○	○	10
	<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ</p> <p>(エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
備考							合計
							76

高等学校 令和6年度（1、2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 山本一博

使用教科書： 発行者 日文 教科書記号・番号 美Ⅰ703 教科書名 高校美術

教科 「芸術」 の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、制作意図に基づき表現するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫し、芸術の美しさを深く味わい自ら考え制作しする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、情操を培う。

科目 「美術Ⅰ」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現するための技能を身に付ける。	創造的な表現を創意工夫し、課題のねらい、見方や感じ方など制作意図について考え、表現と鑑賞を一体的に扱い主題を精査し創造的な発想や構想を練り、表現活動を行う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、課題目的を精査し創造的に発想構想を練り、価値意識など美術や美術文化に対する見方感じ方の多様性を考える。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配当 時数
			絵・彫	デ	映	鑑賞					
1 学 期	A 単元 オリエンテーション 美術とは 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、美術Ⅰの学習イメージを持ち、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度、鑑賞を通し、ねらいや意図を理解し深める。	・指導事項 オリエンテーション 美術とは 美術について考える。 ・教材 原稿用紙、	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の幅広い創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	B 単元 製図 【知識及び技能】 図学の基礎知識を学ぶ。正確な製図を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む。鑑賞を通して、ねらいや意図を理解し深める。	・指導事項 製図 正五角形 正十二面体展開図作成 ・教材 画用紙	○	○		○	【知識・技能】 製図の理解。基礎的な正しい図形の描き方。 【思考・判断・表現】 製図の決まりを理解し、簡単に効率のよい図形の描き方を創造的に発想し制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	C 単元 絵画・立体切り絵 【知識及び技能】 切り絵の基本的な表現技法を学び、絵画としての構図、構成を理解する。道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の特徴を引き出す表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度、鑑賞を通し、ねらいや意図を理解し深める。	・指導事項 正十二面体切り絵作成 ・教材 カラーセント紙、カッター、マット、等	○	○		○	【知識・技能】 切り絵の基本的な表現方法について理解する。 【思考・判断・表現】 切り絵の空間、構図、量感など絵画としての意図を理解し、切り絵の有効的な表現方法を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 切り絵制作の創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科 公民 科目 公共

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 田中 敏生

使用教科書： 発行者 数研出版 教科書記号・番号 709 教科書名 高等学校 公共 これからの社会について考える

教科 「公民」 の目標

【知識及び技能】	概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解し，情報を適切かつ効果的に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断出来る
【学びに向かう力、人間性等】	現代の諸課題を国家及び社会の形成者として，主体的に解決しようとしている。

科目 「公共」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解し，情報を適切かつ効果的に使うことができる。	事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断出来る	現代の諸課題を国家及び社会の形成者として，主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 日本社会の基本原理 【知識及び技能】 日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解する 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方について，多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断する 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法と自らの生き方を結びつけることができる	日本国憲法の特徴 日本国憲法の基本原理 国民主権と天皇の地位と役割 基本的人権と公共の福祉 法の下での平等 国会のしくみと役割 衆議院と参議院 内閣の地位と職務 行政権の肥大	【知識及び技能】 日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方について，多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断できるか 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法と自らの生き方を結びつけることができるか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 ルールをつくり守る私たち 【知識及び技能】 法や規範の意義や役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 裁判によって国民の権利が守られているのか考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 裁判員制度の意義をふまえて参画する自覚を持つことができる。	法の機能と限界 法の分類と憲法との関係について 私法の特徴経済活動や生活のなかの法律 司法権の独立と裁判官の身分保障 裁判所の種類やしくみ 違憲審査権と違憲審査の意義 司法制度の改革	【知識・技能】 法や規範の意義や役割を理解できたか。 【思考・判断・表現】 裁判によって国民の権利が守られているのか考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 裁判員制度の意義をふまえて参画する自覚を持つことができたか。	○	○	○	8

<p>○ 単元 政治参加と民主政治の課題</p> <p>【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分が理想とする政治・選挙制度を選択することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 選挙への参加など主権者としての自覚を持つ。</p>	<p>選挙の原則と選挙制度</p> <p>日本の選挙制度の仕組みと問題点</p> <p>政党と民主政治・日本の政党政治地方政治のしくみ</p> <p>世論とマスメディア</p> <p>圧力団体と現代政治</p>	<p>【知識・技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割について理解できているか</p> <p>【思考・判断・表現】 自分が理想とする政治・選挙制度の選択を考察することができたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 選挙への参加など主権者としての自覚を持つことができたか。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>7</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	D 単元 国際政治の動向 【知識及び技能】 国際法や国際連合の組織と役割が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 国連の現状と課題集団の安全保障について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGについて考え国際問題に関心を持ち解決への自らの方向性を考える。	主権国家と国際政治 国際法と領土問題 戦後の国際関係・東西の対立 多極化から冷戦の終結へ 近年の国際情勢について 現代の問題SDGs SDGsと取り組み	【知識・技能】 国際法や国際連合の組織と役割が理解できたか。 【思考・判断・表現】 国連の現状と課題集団の安全保障について考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsに関心を持ち解決への自らの方向性を考えることができたか。	○	○	○	8
	E 単元 国際政治の課題と日本の役割 【知識及び技能】 日本の平和主義と安全保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際化を身近に考え、国際社会の諸問題について判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際問題について関心を持ち、その解決について主体的に追究する。	日本の安全保障 憲法と日本の防衛政策 日米安保体制の展開と変容 国際協力と自衛隊の海外派遣 軍縮への動き 核の廃絶 国際連合の組織と課題	【知識・技能】 日本の平和主義と安全保障について理解できているか。 【思考・判断・表現】 国際化を身近に考え、国際社会の諸問題について判断できている 【主体的に学習に取り組む態度】 国際問題について関心を持ち、その解決について主体的に追究できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	F 単元 経済のしくみと産業の変化 市場経済のしくみと金 【知識及び技能】 現代の経済について理解し、産業構造の変化と雇用・労働問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の企業や国民生活の変化について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の経済の中で、自分の進路や職業選択を考えることができています	国民経済と経済主体 資本主義経済の変容 企業の働きと役割 日本を支える中小企業と農業 戦後日本経済のあゆみ 産業構造の変化と職業 労働者の権利市場経済のしくみと物価 需要と供給 国民所得と経済成長 金融の役割と金融政策	【知識・技能】 現代の経済について理解し、産業構造の変化と雇用・労働問題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 現代の企業や国民生活の変化について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の経済の中で、自分の進路や職業選択を考えることができています	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 単元 市場経済のしくみと金融 【知識及び技能】 市場経済のメカニズムや金融のしくみが理解する 【思考力、判断力、表現力等】 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済のメカニズムをもとに合理的な消費行動がとれている。	市場経済のしくみと物価 需要と供給 国民所得と経済成長 金融の役割と金融政策	【知識・技能】 市場経済のメカニズムや金融のしくみが理解できているか 【思考・判断・表現】 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済のメカニズムをもとに合理的な消費行動がとれるか。	○	○	○	6
	H 単元 財政と社会保障 【知識及び技能】 財政と租税の役割や公害対策と環境保全について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 地球全体での動向を視野に入れながら公害対策と環境保全について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 高齢化社会における社会保障について自らの問題としてどのような行動が必要か考えられる	財政と租税の役割 公害対策と環境保全 高齢化社会における社会保障	【知識・技能】 財政と租税の役割や公害対策と環境保全について理解する 【思考・判断・表現】 地球全体での動向を視野に入れながら公害対策と環境保全について考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢化社会における社会保障について自らの問題としてどのような行動が必要か考えられたか	○	○	○	4

備考	単元 国際経済の動向 【知識及び技能】 円安と円高を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化と国際経済について自分の生活と関連させて考えられる 【学びに向かう力、人間性等】	円安と円高 グローバル化と国際経済	【知識・技能】 円安と円高を理解できたか 【思考・判断・表現】 グローバル化と国際経済について自分の生活と関連させて考えられるか 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2
	定期考査			○	○		1
							合計 72

高等学校 令和6年度（1、2、3学年用） 教科 機械 科目 工業技術基礎

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 4 単位 教科担当者： 佐藤 祐次 竹谷 尚人

使用教科書： 発行者 実教出版 教科書記号・番号 701 教科書名 工業技術基礎

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、機械技術の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 「工業技術基礎」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	『工業技術基礎』を学ぶにあたって 【知識及び技能】 ものづくりが工業技術の中での役割についての知識と技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 技術者として、人と社会のかかわりや工業技術が担う役割を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 工業の各分野に共通に必要な基礎的な知識、技術、態度を実験・実習を通して習得する意義を理解させる。	・指導事項 「工業技術基礎」では、実習・実験を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。 ・教材 教科書・工業技術基礎	【知識・技能】 学ぶ目的を理解し、工業の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 何を学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業の共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	2
	手仕上げ 【知識及び技能】 手仕上げの基本作業を知識を習得し、手仕上げの技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 手仕上げ作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 手仕上げ作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 手仕上げでは、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。 ・教材 教科書・工業技術基礎	【知識・技能】 手仕上げを学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 鑄造作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 手仕上げの知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	18

<p>鑄芸</p> <p>【知識及び技能】 鑄芸の基本作業を知識を習得し、溶接の技術を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鑄芸作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鑄芸作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>鑄芸では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。</p> <p>・教材 教科書・工業技術基礎</p>	<p>【知識・技能】 鑄芸を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑄芸作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鑄芸の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	18
<p>板金</p> <p>【知識及び技能】 板金の基本作業を知識を習得し、板金の技術を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 板金作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 板金作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>板金では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。</p> <p>・教材 教科書・工業技術基礎</p>	<p>【知識・技能】 板金を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 板金作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ガス溶接の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	18

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
	<p>アーク溶接</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>アーク溶接の基本作業を知識を習得し、溶接の技術を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アーク溶接作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>アーク溶接作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>アーク溶接では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書・工業技術基礎</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>アーク溶接を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>アーク溶接作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>アーク溶接の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	28
2 学 期	<p>ガス溶接</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ガス溶接の基本作業を知識を習得し、溶接の技術を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>ガス溶接作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>ガス溶接作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>ガス溶接では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書・工業技術基礎</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>ガス溶接を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ガス溶接作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ガス溶接の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	28
3 学 期	<p>旋盤</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>旋盤の基本作業を知識を習得し、加工技術を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>旋盤作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>旋盤作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>旋盤では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書・工業技術基礎</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>旋盤を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>旋盤作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>旋盤の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	○	○	○	28
備 考							<p>合計</p> <p>140</p>

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科 機械

科目 工業情報数理

対象学年組： 第 1 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 佐藤 祐次 竹谷 尚人

使用教科書： 発行者 実教 教科書記号・番号 工業719 教科書名 精選工業情報数理

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	工業の各分野に携わる職業人として必要な知識を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	工業の各分野に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創的に解決する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	工業の各分野に携わる職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 「工業情報数理」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。	工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	産業社会と情報社会 【知識及び技術】 情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現することを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現でき、問題の発見・解決に向けて具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりする力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会でのコンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 情報・情報処理・データ・IoTなどの用語の意味と情報化社会の利点や問題点を理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現することを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現でき、問題の発見・解決に向けて具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりすることできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会でのコンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	5
	産業技術と情報技術 【知識及び技術】 身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか、情報技術を利用してエネルギーを有効活用どのように利用しているを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータはいわゆるパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることを考察し発表できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータが家電製品など身のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 情報化の進展により、工場・販売流通・オフィスなどにおいて、コンピュータによる自動化が作業を効率的に進めていること、エネルギー・情報などさまざまな資源を効率的に活用できるようになったことを理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか、情報技術を利用してエネルギーを有効活用どのように利用しているを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることが考察し発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータが家電製品など身のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	5

<p>コンピュータの基本操作とソフトウェア</p> <p>【知識及び技術】 コンピュータ・マウス・タッチスクリーン・キーボードなどの基本的な操作の知識や技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 コンピュータの基本操作・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置と取扱いについて理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 マウス・タッチスクリーン・キーボード・記憶装置などを扱う技術、ハードディスク・光ディスク・フラッシュメモリなどの特徴などの知識・技術を習得している。 【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○		○	3
<p>アプリケーションソフトウェア①</p> <p>【知識及び技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 日本語ワードプロセッサソフトウェアと関連するソフトウェアについてについて操作使用方法を理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査を実施する。</p>	<p>ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出</p>	<p>提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。</p>				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	<p>アプリケーションソフトウェア②</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>主に表計算ソフトウェアと関連するソフトウェアについて操作使用方法を理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>アプリケーションソフトウェア③</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>日本語ワードプロセッサと表計算ソフトウェア以外の操作使用方法を理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>プログラムとアルゴリズム</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>機械語・アセンブラ言語・高水準言語、プログラムの作成手順、流れ図、簡単なプログラム作成のための知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>コンピュータへの命令に必要な言語に興味をもち、プログラムの作成手順、流れ図、プログラミンに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>プログラム言語の種類、問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成、順次・選択・繰返の基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>機械語・アセンブラ言語・高水準言語、プログラムの作成手順、流れ図、簡単なプログラム作成のための知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>コンピュータへの命令に必要な言語に興味をもち、プログラムの作成手順、流れ図、プログラミンに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○		○	5
	<p>プログラミング</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力、結果を出力、組込み関数、順次・選択・繰返処理のアルゴリズムと使用する命令について理解し、知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>インタプリタとコンパイラの違い、流れ図から処理の流れ、簡単なプログラムから結果の出力などを考察し発表できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>基本的な命令を理解し、簡単なプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>BASICの特徴、簡単なプログラム作成、データの出力、データの入力、関数の計算、選択処理、繰返処理について理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力、結果を出力、組込み関数、順次・選択・繰返処理のアルゴリズムと使用する命令について理解し、知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>インタプリタとコンパイラの違い、流れ図から処理の流れ、簡単なプログラムから結果の出力などを考察し発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>基本的な命令を理解し、簡単なプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>定期考査を実施する。</p>	<p>ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出</p>	<p>提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。</p>				

3 学期	<p>ハードウェア</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>処理装置や周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、データ圧縮・伸長、AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路、理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>利用目的に応じた適切な周辺装置の選択、字・音・静止画像・動画像の情報と人の感覚の関係を考察し発表できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>処理装置と周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、基本論理回路などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>コンピュータの構成、処理装置の動作、入出力・補助記憶装置、データの表し方、文字・音・静止画像・動画像のデジタル化、論理回路の基本について理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>処理装置や周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、データ圧縮・伸長、AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路、理解し、それら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>利用目的に応じた適切な周辺装置の選択、字・音・静止画像・動画像の情報と人の感覚の関係を考察し発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>処理装置と周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、基本論理回路などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>ネットワーク</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>データ通信システムと情報通信ネットワークの概要、FTTH・ADSL・CATV・ブロードバンド・公衆無線LANなどのインターネット接続の概要、伝送制御方式、HTTP・SMTP・POP・FTPなどを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>インターネット接続について適切な方式の選択、ネットワークに使用されている機器を判断し、構成を説明できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>データ通信・ネットワークの概要、インターネット接続・ネットワーク、ネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>コンピュータネットワークを利用した情報交換、コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事、コンピュータネットワークを停止させずに安全に利用する方法について理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・1人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>データ通信システムと情報通信ネットワークの概要、FTTH・ADSL・CATV・ブロードバンド・公衆無線LANなどのインターネット接続の概要、伝送制御方式、HTTP・SMTP・POP・FTPなどを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>インターネット接続について適切な方式の選択、ネットワークに使用されている機器を判断し、構成を説明できる。</p> <p>・家庭のインターネット接続について適切な方式を選択し提案できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>データ通信・ネットワークの概要、インターネット接続・ネットワーク、ネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>コンピュータ制御と数値処理</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などを理解しそれら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>量の名称・量記号・単位(SI)について説明でき、実験データのグラフ化し、解析する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>コンピュータ制御の考え方、量の名称・量記号・単位(SI)について、理解させる。</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などを理解しそれら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>量の名称・量記号・単位(SI)について説明でき、実験データのグラフ化し、解析することできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査を実施する。</p>	<p>ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出</p>	<p>提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。</p>				
備考	合計						
	70						

高等学校 令和6年度（1 学年用）

教科保健体育科目保健

対象学年組：第 1 学年 M 組

単位数：1 単位

教科担当者：鈴木 悠太

使用教科書：発行者大修館

教科書記号・番号保体701

教科書名現代高等保健体育

教科「保健体育」の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目「保健」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	(1)現代社会と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	(ア)健康の考え方 ⑦国民の健康課題 ⑧健康の考え方と成り立ち ⑨健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	4

	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
--	--	--	--	--	--

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
1 学 期		(イ)現代の感染症とその予防 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
		(ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	2

		【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	<p>(1)現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>(ウ)生活習慣病などの予防と回復</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
		<p>(エ)喫煙・飲酒・薬物乱用と健康</p> <p>⑦喫煙、飲酒と健康</p> <p>⑧薬物乱用と健康</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	○	○	○	7

		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
--	--	--	--	--	--	--

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期		(オ)精神疾患の予防と回復 ⑦精神疾患の特徴 ⑧精神疾患への対処 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(2)安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	(ア)安全な社会づくり ⑦事故の現状と発生要因 ⑧安全な社会の形成 ⑨交通安全 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	2

【思考・判断・表現】
・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。
・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。
・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。

【主体的に学習に取り組む態度】
安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

定期考査

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
3 学期	<p>(2)安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>(ア)安全な社会づくり</p> <p>⑦事故の現状と発生要因</p> <p>⑧安全な社会の形成</p> <p>⑨交通安全</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
		<p>(イ)応急手当</p> <p>⑦応急手当の意義</p> <p>⑧日常的な応急手当</p> <p>⑨心肺蘇生法</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようになる。</p> <p>・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。</p> <p>・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	○	○	○	6

			【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	定期考査						1
備考							合計
							38